

2020年度

経営のできる大学病院幹部養成プログラム
標準コース（履修証明プログラム）

履修生募集要項

東京大学大学院医学系研究科
東京大学医学部附属病院

1. はじめに

本プログラムの目的

大学病院経営の基本的姿勢や考え方について十分な理解を得ることを最大の到達目標とする。また、公的高度医療機関の組織的特徴とそれを囲む制度ほか周辺環境について十分な知識を修得し、高度医療機関にふさわしいビジョンを俯瞰できる素養を身に着ける。経営技術については経営担当部局との効果的なコミュニケーションに必要な、初歩的ないし中級レベルの修得を目指す。経営の中心的概念・技術（財務・管理会計、組織論・人材管理、戦略論、リスクマネジメント）について、オーバービュー講義を通じて基礎知識を学習し、インクラスディスカッションならびにケースシナリオを用いた実践的演習を通じて、それらを実践知化する。講義、演習ともにディスカッションを重視し基本的概念の定着のみならず、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を養うことも目指す。

カリキュラム中に設定したオムニバス講義で、関連のトピックをカバーし、より広い視点からのケースの考察ができるように援助する。本コースは個別経営技術の習得そのものや、現在話題となっている経営上のトピックを取り扱うことは中心的な目的とはしない。

さらに、コースの期間中・修了後を通して履修者相互および卒業生・関係各位によるネットワーク構築を支援する。

履修生受け入れ方針

当プログラムは、次世代の大学病院を中心とする公的高度医療機関の経営層を養成することを目的として設置された。従って対象となる受講者は主として大学病院もしくは公的

病院に勤務する若手～中堅の医師で、今後病院経営に従事する機会を持つ可能性が高いもの、ないしはその意思を持つものを想定している。同様に意欲のあるメディカルスタッフおよび事務職員についても受講対象に含まれる。

また、医療機関の経営に関係する民間企業等所属の者について若干名受け入れる。

なお、上記の目的のため、一部の講義・演習については、大学病院など公的・高度医療機関に固有の制度や特徴を取り扱う場合があるので、留意されたい。

履修申請書類として提出する履歴書（職務経歴書）、小論文および同意書から申請者の現職、経歴、キャリアプラン、病院経営に対する情熱・ビジョンおよび履修にかかる職場の理解などの状況を主要な判断材料とする。また、履修者全体の所属、職種、地域等を鑑みて、極端な偏りが無いことを、追加の判断基準とする。

プログラムの概要

「経営のできる大学病院幹部養成プログラム」標準コースは、履修証明プログラムとして開設する。履修証明プログラムは、平成19年の学校教育法の改正により創設された「履修証明（certificate）制度」に基づくもので、主に社会人を対象として体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムである。

2020年度標準コースは総時間122.5時間のコースで構成される。

履修修了生には本学から学校教育法に基づく履修証明書を交付する。履修証明プログラムは学位課程と異なり、単位や学位が授与されるものではないので留意すること。

プログラムの修了要件

履修者は、原則として、全講義を欠席することなく受講することが求められる。所属機関の業務命令等のやむを得ない事情により欠席する場合は、プログラム事務局にあらかじめ連絡の上、その指示に従うこと。なお、災害・荒天等より出席が困難な場合、あらかじめ

め交通機関の運休が予想される場合などについては、不利な取り扱いは行わない。

講義場所・日時について

講義は、原則として、東京大学本郷キャンパス内の講義室にて、2020年5月から11月までの毎週土曜日に開講する。詳細は2020年度シラバスを参照すること。

履修期間 2020年5月16日より2020年11月中旬まで

※7月25日、8月1日、8月8日は休講予定

講義場所 東京大学本郷キャンパス内（詳細は別途連絡）

開講時間 原則として、毎週土曜日10:00～16:45

プログラム履修について

上記の目的、受け入れ方針のほか別紙のカリキュラム等の資料を参照し、履修を希望される方は、以下の履修申請にかかる諸注意について熟読の上、履修申請を提出すること。なお、最新情報は適宜プログラムのWebサイトに掲載するので、確認すること。本募集要項に不明の点があれば、プログラム事務局まで問い合わせること。

受講にかかる費用について

2020年度標準コースの受講料は、医療機関・公的機関等所属の場合、250,000円（税込）とする。なお、民間企業等に所属の場合は、500,000円（税込）とする。応募にあたって、どちらに該当するか不明な場合や、特別な配慮が必要な場合は別記の事務局で相談に応じる。

この受講料には、全員に配布する予定の資料・ケース等を含んでいる。講師が講義中に提示する参考図書等は含まれていない。参考図書等の購入は個人の判断に基づく。

受講料のほか、東京大学本郷キャンパスまでの交通費・宿泊費等の通学にかかる経費に

ついて、あらかじめ考慮すること。

履修人数について

2020 年度標準コースの募集人員は約 20 名である。なお、履修者を選考した結果、定員を満たさない場合がある。

2. 履修資格

下記のいずれかの要件を満たす者とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 高等学校を卒業した者、または通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者であって、医療機関等で 4 年以上の実務経験を持つ者

(注)「大学を卒業した者」には、学校教育法第 83 条の定める大学を卒業した者のほか、外国大学その他の学校教育における通算 16 年以上の課程を修了した者、大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、各省庁設置法・組織令・独立行政法人個別法による大学校を修了した者を含む。

(注) 履修資格について、不明点がある場合や、上記と同等と認められる経歴がある場合などは個別の相談に応じるので、プログラム事務局まで問い合わせること。

3. プログラム履修までの手続きの流れ

日程	履修希望者のアクション	プログラム事務局のアクション
1月17日	(1) プログラム履修申請 提出締切	
2月中旬		(2) 履修者選抜（書類選考）
2月20日頃		(3) 選抜結果送付 (受講料納付に関する説明同封)
4月上旬	(4) 受講料納付	
4月中旬		(5) 履修許可書・受講に関する説明送付
5月16日	(6) 初回講義受講	(6) 初回講義施行

選抜結果は、2月20日頃に、本人にあて電子メールで通知する。履修手続きの詳細については、履修対象者のみに別途通知する。履修手続きの概略は以下の通りである。

- ・電子メールにより、以下の情報を通知

- 履修者選抜を通過したことを証明する書類

- 受講料納付に関する説明書類

- 受講に関する注意事項

- ・4月上旬 受講料納付

※期限までに納付が確認できない場合、履修を許可しないことがある。

※受講料 : 医療機関・公的機関等所属 250,000円（税込）

: 民間企業所属 500,000円（税込）

詳細については選考を通過したものに個別に連絡する。

- ・4月中旬 電子メールにより、以下の情報を通知

- 履修許可書

- 初回講義に関する連絡事項

4. 出願について

(1) 出願は郵送に限る。

郵送にあたっては、下記「提出書類」を一括して市販の角2型封筒に入れ。郵送すること。封筒前面に「履修申請書類在中」と朱書きすること。郵便事故を防ぐために簡易書留とすることを推奨する。

郵送先：〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院 企画経営部

「経営のできる大学病院幹部養成プログラム」事務局 宛

(2) 出願書類受付締め切り

2020年1月17日(金) ※消印有効

(3) 提出書類

様式	書類名称	摘要
1	願書 (履歴書兼職務経歴書) 【様式1】	顔写真は6ヶ月以内に撮影した正面上半身無背景の写真を貼り付けること。裏面に氏名を記入すること。明瞭に印刷できる場合は、画像データを挿入し印刷したものでもよい。 学歴欄は、高校卒業以降を記入すること。職務経歴欄は、担当した業務がわかりやすいように表記すること。太枠内全ての項目を記入すること。
2	小論文 【様式2】	小論文課題：「なぜあなたは病院経営を学ぶのか」 一般論ではなく、申請者の現在の立場、所属組織、将来のキャリアパスなどの文脈において具体的に論ずること。 なお、市販のA4用紙に12ポイント程度の大きさのフォントで最大2ページ以内に記述すること。1ページ目の1行目に標題、2行目に氏名を記載すること。なお、用紙は縦置き、横書きとし、その他の書式は任意とする。

3	同意書 【様式 3】	署名者は必ずしも施設の長でなく、直接の上席者でよい。上席者の同意が得られなかった場合は、自己申告欄に記入し提出すること。
---	---------------	--

(注 1) 上記以外の書類は同封しないこと。提出書類は返却しない。

(注 2) 提出書類については、当プログラムのウェブサイトに Microsoft Word 形式のテンプレートを掲載するので、ダウンロードして使用すること。

(注 3) 提出書類の受領後、事務局から申請者に願書記載の電子メールアドレスに宛てて書類受領の連絡を送信する。1月21日(火) 17:00までに書類受領の電子メールが受信できない場合は、1月23日(木) 17:00までに事務局まで電話連絡すること。なお電子メールの送信元ドメインは u-tokyo.ac.jp である。このドメインからの電子メールを受信できるよう設定しておくこと。

(4) 履修生選考にかかる費用は無料である。

5. 受講生選抜方法

受講生の選抜は、願書、小論文による書類選考を行う。同意書の内容を参照することがある。選考に関する問い合わせには応じない。

6. 受講生選抜結果発表および受講手続き

受講生選抜結果については、その可否に関わらず本人に宛てて 2月20日から 22日にかけて、電子メールで通知する。受講手続きの詳細については電子メールに添付して通知する。

7. 注意事項

- (1) 提出書類の郵送後の差し替えは認めない。また書類は返却しない。
- (2) 履修申請にあたって知り得た情報は、①履修者選考、②合格発表、③履修手続き、④教務管理、⑤履修生支援に関する業務に利用する。また履修者選抜に用いた書類選考成績は、今後のプログラム履修者選考、教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (3) 納入後の受講料は、理由にかかわらず返還しない。
- (3) 履修期間中は、東京大学の身分証明証および学生割引証は発行されない。また、通学定期乗車券の利用対象とはならない。
- (4) 履修者の国籍は問わないが、当プログラムは履修生の在留資格を管理しない。自己の管理のもとで、適法に受講すること。使用言語は基本的に日本語である。

連絡先

当プログラムに関する情報は、下記ウェブサイトにおいて公表する。

<http://hep.m.u-tokyo.ac.jp/>

履修ないし手続きに関する質問については、下記連絡先まで問い合わせること

E-Mail hep@adm.h.u-tokyo.ac.jp

電話 03-5800-8750 （プログラム事務局直通）

履修に関しての懸念、疑問がある場合、または特殊な対応が必要な場合などについて、相談に応じる。

東 京 大 学
経営のできる大学病院幹部養成プログラム 御中

東京大学経営のできる大学病院幹部養成プログラム履修にあたっての同意書

当施設の職員である、(申請者氏名) _____氏が標記プログラムの履修を希望するにあたって、プログラムを受講することが当施設における将来の経営人材の育成に寄与すると考えますので、これを認めます。

また、私はこれを支援するために、上長として履修のための勤務日調整など、全講義を履修できる環境に配慮することに同意します。

なお、プログラムの受講料は、(どちらかを選択) 当施設が負担する ・ 申請者自身が負担する)
ことといたします。

西暦 年 月 日

施設名

部 署

役 職

署名または記名押印 _____

以下に該当する場合のみ枠内にチェックを入れて下に記入すること。

上長の署名が得られなかったので、下記の事項について申請者自ら申告する。

- ・ 宿日直等の勤務の調整を行って、全講義を履修するよう務めます
- ・ 履修を中断することのないよう、職場において理解を得るよう務めます
- ・ 受講料は指定された日までに、確実に納付します

西暦 年 月 日

申請者自署 _____

東京大学経営のできる大学病院幹部養成プログラム

2020 年度シラバス(抄)

当プログラムの対象

当プログラムは、次世代の国立大学病院を中心とする公的高度医療機関の経営層を養成することを目的としている。従って対象となる受講者は主として大学病院もしくは公的病院に勤務する若手～中堅の医師、メディカルスタッフおよび事務職員のうち、今後病院経営に従事する機会を持つ可能性が高いもの、ないしはその意思を持つものを想定している。上記の目的のため、一部の講義・演習については、大学病院など公的高度医療機関に固有の制度や特徴を取り扱う場合があるので、留意されたい。

当コースのカリキュラム編成上のねらい

経営の基本的姿勢や考え方について十分な理解を得ることを最大の到達目標とする。また大学病院など公的高度医療機関の組織的特徴とそれを囲む制度ほか周辺環境について十分な知識を修得し、高度医療機関にふさわしいビジョンを俯瞰できる素養を身に着ける。経営技術については経営担当部局との効果的なコミュニケーションに必要な、初歩的ないし中級レベルの修得を目指す。経営の中心的概念・技術（財務・管理会計、組織論・人材管理、戦略論、リスクマネジメント）について、オーバービュー講義を通じて基礎知識を学習し、インクラスディスカッションならびにケースシナリオを用いた実践的演習を通じて、それらを実践知化する。講義、演習ともにディスカッションを重視し基本的概念の定着のみならず、プレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力を養うことも目指す。

カリキュラム中にオムニバス講義で、関連のトピックをカバーし、より広い視点からのケースの考察ができるように援助する。本コースは個別経営技術の習得そのものや、現在話題となっている経営上のトピックを取り扱うことは中心的な目的とはしない。

さらに、コースの期間中・修了後を通して履修者相互、卒業生、講師等関係者によるネットワーク構築を支援する。

コース受講者に求められる姿勢

当コースは学校教育法第百五条に基づく「大学における特別の課程」であり、修了者には履修証明書が発行される。修了にかかる要件については下記に詳述するが、受講者

には第一に全講義を欠席することなく受講する十分な準備が求められる。

講義はあくまでも基本知識を確認するためのものであり、当コースでは講義中の積極的な発言や、ケースを通じたアクティブな学習を参加者に対して求める。そのため、特にシナリオケースについては事前の読み込みを、指定された場合には課題準備を事前に行ったうえで受講することを必須要件とする。また、講師への質問を歓迎する。外部から招聘するゲスト講師も多いことから、質問は講義中にすることを心がけられたい。

さらに講座中に適宜行われる小グループによる討論・準備も、多職種・利害関係のある集団とのコミュニケーションや共同意思決定が求められる経営者にとって必須の訓練であると考え、積極的な参加を求める。

講義場所、日時、担当講師

次ページ以降からの講義予定表を参照すること。変更になった場合は、受講生へ電子メールまたはWEBを通じて周知する予定である。

指定教科書

必要な文献・ケースシナリオ等は講義資料として配布する。シラバスの各ページに記載の参考書籍等は必須ではないが、必要に応じて参照すること。参考書籍の一部は講師室に備え、閲覧に供する予定である。

なお、詳細については初回オリエンテーションにおいて説明する。

修了認定

全講義への出席を修了認定の必須要件とする。やむを得ず欠席した場合は担当教員の指示を受け、欠課時数に相当する修学の成果を提示する必要がある。

出席に加えて、講義に臨む姿勢、ケーススタディへの参加状況、および提出課題等を総合評価して、修了認定審査会において判定を行う。修了を認定する場合は、本学の特別の課程を履修した事を証する書状を発行する。

授業評価

受講生の理解度および習熟度を測り、カリキュラムの調整および今後の改定等に役立てるために、各講義および全体のコース評価（満足度調査）を適宜実施する。ご協力をお願いしたい。また、適宜講師の判断で個別の講義で授業アンケートを実施する場合もある。同様にご協力いただきたい。記載内容は修了認定には影響しない。

2020年度カリキュラム

カテゴリー	講義タイトル	形式	単位	主担当者(副担当)	主担当者 所属
	プログラムの全体像・ケーススタディ演習	演習	2	橋本英樹・渋谷明隆	学校法人北里研究所 常任理事
医療経営学	医療経営の原理	講義	1	西田在賢	県立広島大学特任教授、HBMS地域医療経営プロジェクト研究センター長、静岡県立大学名誉教授
Overview	会計、財務のOverview Lecture	講義	1	森勇治	静岡県立大学経営情報学部准教授、医療経営研究センター副センター長
Overview	組織論のoverview～組織論総論	講義	1	渡邊光康	医療法人財団 愛慈会 理事長、東京大学大学院医学系研究科 非常勤講師
Overview	マーケティング論のOverview Lecture(サービスマーケティングを含む)	講義	1	渡邊光康	医療法人財団 愛慈会 理事長、東京大学大学院医学系研究科 非常勤講師
Overview	医療制度のOverview Lecture	講義	1	橋本英樹	東京大学大学院医学系研究科教授
Overview	リーダーシップのOverview Lecture～問題解決型リーダーと問題設定型リーダー	講義	1	渡邊光康	医療法人財団 愛慈会 理事長、東京大学大学院医学系研究科 非常勤講師
Overview	HRMのOverview Lecture	講義	1	高橋俊介	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授
Overview	医師患者コミュニケーション	講義	1	高山智子	国立がん研究センターがん対策情報センター部長
Overview	戦略論のOverview Lecture 戦略論総論	講義	1	橋本英樹	東京大学大学院医学系研究科教授
会計	会計1:複式簿記、財務諸表	講義	1	森勇治	静岡県立大学経営情報学部准教授、医療経営研究センター副センター長
会計	会計1(演習):複式簿記、財務諸表	演習	1	森勇治	静岡県立大学経営情報学部准教授、医療経営研究センター副センター長
会計	会計2:財務諸表表示	講義	1	森勇治	静岡県立大学経営情報学部准教授、医療経営研究センター副センター長
会計	会計3:会計不正事例(財務会計)	講義	1	牧健太郎	牧公認会計士・税理士事務所
会計	会計4:原価計算、意思決定会計概論(管理会計)	講義	1	牧健太郎	牧公認会計士・税理士事務所
会計	会計5:経営分析(管理会計)、経営改善	講義	1	長谷川英司	公認会計士
会計	国立病院会計規程について	講義	1	塩崎英司	東大病院事務部長
財務	ファイナンス・資金調達論	講義	1	松原由美	早稲田大学人間科学学術院 健康福祉学科准教授
財務	設備投資に関わる意思決定・前編	ケース	1	松原由美	早稲田大学人間科学学術院 健康福祉学科准教授
財務	設備投資に関わる意思決定・後編	ケース	2	松原由美	早稲田大学人間科学学術院 健康福祉学科准教授
IT	医療情報システム(総論)	講義	1	大江和彦	東京大学大学院医学系研究科 社会医学専攻 医療情報学分野教授
IT	医療情報管理とデータの安全な二次利用	講義	1	大江和彦	東京大学大学院医学系研究科 社会医学専攻 医療情報学分野教授
IT	医療情報システムのデザイン	講義	1	土井俊祐	東京大学医学部附属病院企画情報運営部・病院講師
IT	組織と医療システム:北辰大学附属病院	ケース	2	小西竜太(橋本英樹)	三菱商事株式会社 ヘルスケア部
IT	けいじゅヘルスケアシステム	ケース	1	井田有亮、山田恵子	東京大学医学部附属病院企画情報運営部
組織論	医療における総合的リスクマネジメント	ケース	1	井田有亮、山田恵子	東京大学医学部附属病院企画情報運営部
リーダーシップ、組織論	意思決定とガバナンス	講義	1	後藤隆久	横浜市立大学医学部麻酔科学教授、横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長
マーケティング	青梅慶友病院	ケース	1	大塚太郎	青梅慶友病院理事長
マーケティング	地域におけるポジショニング	講義	1	今村英仁	公益財団法人慈愛会 理事長
HRM	人材の採用と育成	講義	1	小田村裕子	メトロニック人事本部長
HRM	組織変革をリードするマネジメントチーム	ケース	2	奥真也・青山陽一	エドワーズライフサイエンス
HRM	教育プログラムの作り方	演習	1	鈴木大介	株式会社リクルート

カテゴリー	講義タイトル	形式	単位	主担当者(副担当)	主担当者 所属
HRM	看護における人材管理	講義	1	武村雪絵	東京大学大学院医学系研究科 准教授
戦略	DPCデータを用いた品質管理	講義	2	荒井康夫	北里大学病院 診療情報管理室課長
戦略	ケアセッティングシフトと病院再編～医療供給体制からみた病院再編仮設の立案	講義	1	松田淳	KPMGヘルスケアジャパン 代表取締役・パートナー
戦略	ケアセッティングシフトと病院再編～医療供給体制からみた病院再編仮設の立案	演習	1	松田淳	KPMGヘルスケアジャパン 代表取締役・パートナー
戦略	医療制度改革の方向と病院経営	講義	1	小松大介	㈱メディヴァ取締役
戦略	用賀アーバンクリニック他(ケーススタディ)	ケース	1	小松大介	㈱メディヴァ取締役
戦略	統合・多角化戦略:野村病院ケース	ケース	2	西田在賢(橋本英樹)	県立広島大学特任教授、HBMS地域医療経営プロジェクト研究センター長、静岡県立大学名誉教授
戦略	ケースメソッドで学ぶリスクマネジメントとリーダーシップ(前)	講義	1	渋谷明隆	学校法人北里研究所 常任理事
戦略	ケースメソッドで学ぶリスクマネジメントとリーダーシップ(後)	ケース	1	渋谷明隆	学校法人北里研究所 常任理事
戦略	Balanced Score Cardについて(総論)	講義	1	渡辺明良	学校法人聖路加国際大学 法人事務局長
戦略	Balanced Score Cardについて(演習)	演習	1	渡辺明良	学校法人聖路加国際大学 法人事務局長
法律・リスク	医療安全とリスクマネジメント	講義	1	中島勲	埼玉医科大学病院 医療安全管理学 教授
法律・リスク	医療安全と医療紛争	講義	1	三村まり子	西村あさひ法律事務所 弁護士
法律・リスク管理	マスメディアとリスクマネジメント・演習	演習	2	磯野敏和	学校法人 植草学園 大学事務局長
法律・リスク管理	経営者が知るべき法律知識	講義	2	渡邊昌裕	わたなべ法律会計事務所
リスク管理	病院の災害対策とBCP作成	講義	1	新井隆男	東京医科大学八王子医療センター 救命救急センター 部長
医療制度	中医協の役割	講義	1	田辺国昭	東京大学大学院法学政治学研究所・公共政策大学院教授
医療制度	診療報酬制度と大学病院	講義	1	小山信彌	東邦大学医学部 医療政策・渉外担当特任部門 教授
医療制度	DPC概論	講義	1	荒井康夫	北里大学病院 診療情報管理室課長
医療制度	Regulatory Science(総論)	講義	1	永井 純正	東大病院TRセンター副センター長
医療制度	Regulatory Science(PMDAの役割を中心に)	講義	1	永井 純正	東大病院TRセンター副センター長
医療制度	医療介護保険制度(総論)～今後の医療介護政策の展望	講義	1	迫井正深	厚生労働省大臣官房審議官(医政、精神保健医療、災害対策担当)(老健局、保険局併任)
医療制度	政策提言の役割	講義	2	小野崎耕平	日本医療政策機構 理事
地域連携	川崎市—住民主体の互助活動と市役所主導の公助をいかに組み合わせるか—(KBS)	ケース	1	井田有亮、山田恵子	東京大学医学部附属病院企画情報運営部
地域連携	地域包括ケアシステムと大学病院の役割	討論	1	田中滋	埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授
地域連携	地域医療連携(在宅医療の立場から)	講義	1	壁谷悠介	医療法人財団愛慈会 そうわくクリニック
地域連携	地域連携	講義	1	中村文隆	帝京大学ちば総合医療センター副院長 帝京大学医学部第三内科主任教授 市原市医師会長
	フリーディスカッション		2	橋本英樹・渡邊光康	東京大学大学院医学系研究科

・講義日程 5/16-11/14(予定)【7/25,8/1,8/8 はオリンピック開催のため休講予定】、修了式 11/21 もしくは11/28(予定)